

平成 24 年 11 月 16 日

ご挨拶

新交通システム推進議員連盟会長 衆議院議員 逢沢一郎

第 11 回全国路面電車サミット 2012 の大阪・堺での開催、おめでとうございます。存続の危機にあった阪堺線が、見事に復活しようとしている今日、ここ大阪・堺で開催されることは、非常に有意義なことだと思います。

さて私たち議連は、全国の路面電車存続や LRT 推進、さらには公共交通全般の復活を目指す市民団体の方々と協議してきました。その結果いわゆる「交通基本法」が、ようやく衆議院国土交通委員会で審議入りし、今国会においてあと 2 週間もあれば成立するというところまでこぎつけております。大阪・堺において皆様方にお会いできることを楽しみにしておりましたが、ご存知のように一昨日の党首討論において、野田総理の本日衆議院解散表明ということで、やむをえず欠席せざるをえなくなりましたことをお許してください。

さて国会はまだまだ先行き不透明ではありますが、LRT の推進は与野党ともに合意できる課題であります。大都市圏と地方の共通の課題ですし、中心市街地の活性化、高齢化社会、バリアフリー、そして地球温暖化の問題、日本の将来のエネルギー問題を考えるうえでも、さらには、LRT はこれからの政治の方向付けにとって大きな意味を持っています。

ところで 6 年前の富山ライトレール開業以来、各地で LRT 推進の流れはいま一歩停滞している感も否めません。それは地方財政の厳しさの中で、建設財源や維持財源の問題が残っているからだと思われれます。衆議院戦後の通常国会においては、まずは懸案の「交通基本法」を最優先に成立させ、各地域での交通計画の策定を促進し、また財源確保を行っていきたいと考えています。

いま政治的にも注目されている大阪・堺において、皆様方の熱心な議論の中から、あらたな提案やネットワークが生まれることを、新交通システム推進議員連盟としても期待しております。おめでとうございます。